



社会的自立支援アウトカム尺度 (SIOS) を活用した 要介護高齢者の主体性向上に寄与する通所介護事業所における自立支援ケアの取り組み

小室貴之※1, 渡辺明子※1, 佐藤満※2

※1 株式会社風の風 ※2 昭和大学保健医療学部理学療法学科

概要：ICFを活用した社会的自立支援アウトカム尺度 (SIOS) はアセスメントツールとして機能する。活動・参加の状態把握と主体性の向上に着目した通所介護での活用事例を報告する。

1. 目的

我々が開発した社会的自立支援のアウトカム尺度はICFに準拠させた項目で構成され、高齢者への自立支援サービス効果を定量化できる。さらにアセスメントツールとして活用することで、難しいとされる社会的自立支援サービスを効率よく提供することができる。ニーズの把握と援助計画の策定、ケアの実施、ケアの評価に関する実践の詳細を事例検討により報告する。

2. 社会的自立支援アウトカム尺度 (SIOS) の概要

SIOSは生活機能が低下した高齢者への役割創出や社会参加支援の成果測定のために開発された。ICF「活動と参加」第2レベルに準拠した「活動」「参加」と、対象者エンパワーメントの成果である「主体性」の3つの下位尺度、全11項目で構成される。ICFの分類に準拠したことで多様な高齢者の役割や社会参加を網羅的に把握できる。対面聞き取りで使用すると対象者の価値観や過去の経験を効率よく把握でき、対象者と援助者が可能性の発見と目標共有をする際のアセスメントツールとして活用できる。

3. 実践事例 (69歳男性, 要介護2, 脳梗塞後遺症, 独居)

2019年1月に1回目のSIOSアセスメントを実施した。引き出されたニーズと援助方針・方法を表1に示す。ICFに準拠した項目に沿って対話を重ねることで、利用者の抑圧された思い(娘への負い目)を利用者と共に見出すことが出来た。支援開始半年後に2回目のSIOSアセスメントを実施し、項目ごと再度ニーズを評価した。SIOSスコアでは活動、参加、主体性共に大きな成果を示し(図1)、今後の援助方針のきっかけも引き出された。

4. 考察

本事例を通じSIOSの活用は、被援助者の思いや意思を表明する機会の保証を起点とし、主体性の向上を目指し、活動と参加を促進するケア方針を策定する様子を明らかにした。さらに主体性の向上により更なる意欲の向上を引き出すことも明らかにされた。援助者がSIOSを活用することで被援助者の意思に基づく自立支援ケアを行う事は、自己選択自己決定を前提とする自立支援において不可欠である。また下位尺度「主体性」においては介護度による影響を受けない(図2)ことが明らかにされており、老化現象による介護度やADLの低下に向き合う重度者の自立支援ケアにおいても活用できる。SIOSの普及を通じADLや介護度の改善に偏重しない、真の自立支援ケアの拡大に寄与したい。

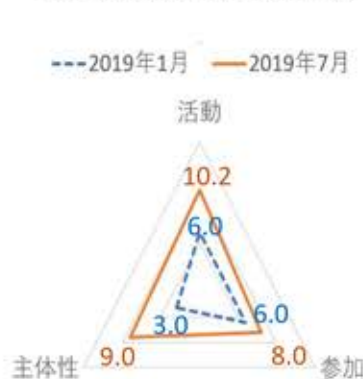


図1 SIOSスコアの変化

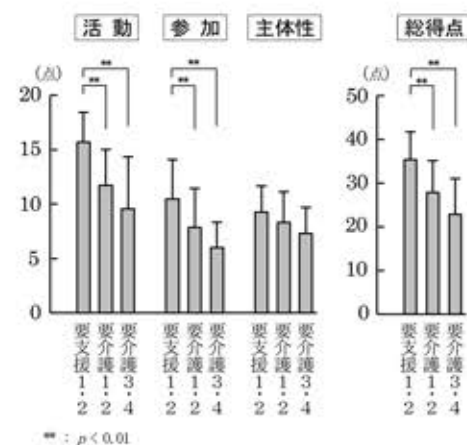


図2 要介護度によるアウトカムの差

表1 SIOSアセスメントから引き出されたニーズと策定された援助方針・方法、および介入後の経過

		介入時 (2019年1月)		介入半年後 (2019年7月)	
SIOSスコア	評価項目	引き出された主なニーズ	援助方針	援助方法	SIOSスコア
活動 6.0	①移動範囲	娘が週一回訪ねてくる。近所のショッピングセンターまで車で連れて行ってくれるが、それ以外外出は無い。娘の負担を軽くするためにせめて買い物と食事の支度ぐらいはしなければならないが情けない。	近所のコンビニまで買い物に行けるようになる。	安定した歩行の獲得 (持久力・バランス他)、杖の使い方・転倒の際の対応方法の習得 (助けを求める・携帯電話)	10.2
	②セルフケア	入浴は危ないからと止められており、娘が来る時と週2回のデイサービス利用時に入浴している。本当は毎日風呂に入りたいがそうすると迷惑をかける。	安全に入浴できるようになる。	入浴動作訓練・福祉用具の選定・浴室の状況を確認	10.2
	③家事	全て週1の娘と週2回のホームヘルパーの世話になっている。一人の時は電子レンジで温めて食べている。			10.2
	④運動習慣	デイサービスで運動する以外、何もしていない。	運動習慣を身に付ける。	ラジオ体操の指導と管理	10.2
参加 6.0	⑤家庭での役割	こうして質問されるとほとんどできていない。人に頼りっぱなしの自分であることを痛感する。情けない。	簡単な掃除が出来るようになる。孫の世話をする。	片手での掃除の仕方を指導・家族の理解・居宅訪問による家庭内の段差当調査	8.0
	⑥社会参加	デイサービスと娘に連れ添われる買い物以外、何も社会参加できていない。			8.0
主体性 3.0	⑦自己効力感	娘に迷惑ばかりかけて、こんな老後になろうとは想像もしていなかった。			9.0
	⑧他者とのかわり	何かしようとすれば介護が必要で、その都度迷惑がかかるので、希望を言っはいいけないと考えている。			9.0
	⑨知識と理解	アドバイスは色々もらうが、身体が動かずどうしようもない。少しくらい動けるようになっても生活は何も変わらないと思う。	援助を通じた娘への負い目、引け目の払しょく	残存機能を活かした家庭内での役割の獲得と家族や援助者の称賛、存在意義の確認	9.0
	⑩主体的意思決定	とても活動的な生活を送れているとは思っていない。迷惑をかけるくらいなら早く死にたいと思う。			9.0
	⑪自己管理	金があれば施設に入ることを望みたい。施設であれば娘に迷惑をかけることがない。			9.0